

be English Logic and Expression III Clear

※ 3 領域について、3 つの評価観点原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK1, 2)のような形で表しています。参考にお使いください。□

1st Zone: Creating an Attractive City

単元目標	・動詞や助動詞を適切に使うことができる。 ・私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるか考え、英語でまとめることができる。 ・「魅力ある街づくり」をトピックにしてプレゼンテーションをすることができる
-------------	--

		話す (やり取り)	話す (発表)	書く
		L1: TASK, SHARE & WRITE Step2 L2: TASK, SHARE & WRITE Step2 L3: TASK2, SHARE & WRITE Step2	L3: Presentation1	L1: SHARE & WRITE Step3 L2: SHARE & WRITE Step3 L3: TASK1, SHARE & WRITE Step3
知識・技能	目標	<知識> 動詞や助動詞について理解している。 <技能> 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、伝え合う技能を身につけている。	<知識> 動詞や助動詞について理解している。 <技能> 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、話す技能を身につけている。	<知識> 動詞や助動詞について理解している。 <技能> 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、書く技能を身につけている。
	a	動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会について、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、論理的に詳しく話すことができる。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、論理的に詳しく書くことができる。
	a	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、論理的に詳しく話すことができる。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、論理的に詳しく書くことができる。
	b	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、話して伝え合うことができる。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、話すことができる。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、話すことができる。	助けがあれば、私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	a	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、伝え合う姿勢が見られる。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、話そうとする姿勢が見られる。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression III Clear

※3領域について、3つの評価観点原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK1, 2)のような形で表しています。参考にお使いください。□

2nd Zone: Forms of Entertainment

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞を適切に使うことができる。 ・余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、英語でまとめることができる。 ・「映画の翻訳について」をトピックにしてスピーチをすることができる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
		L4: TASK, SHARE&WRITE Step2 L5: TASK1, SHARE&WRITE Step2 L6: TASK1	L6: Speech, SHARE&WRITE Step2	L4: SHARE&WRITE Step3 L5: TASK2, SHARE&WRITE Step3 L6: TASK2, SHARE&WRITE Step3
知識・技能	目標	<知識> 形容詞や副詞について理解している。 <技能> 形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、伝え合う技能を身につけている。	<知識> 形容詞や副詞について理解している。 <技能> 形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、話す技能を身につけている。	<知識> 形容詞や副詞について理解している。 <技能> 形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、書く技能を身につけている。
	a	形容詞や副詞を適切に用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	形容詞や副詞を適切に用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	形容詞や副詞を適切に用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、論理的に詳しく話すことができる。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、論理的に詳しく書くことができる。
	a	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、論理的に詳しく話すことができる。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、論理的に詳しく書くことができる。
	b	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、話して伝え合うことができる。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、話すことができる。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、話すことができる。	助けがあれば、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	a	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、伝え合う姿勢が見られる。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、話そうとする姿勢が見られる。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかを、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression III Clear

※ 3 領域について、3 つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK1, 2)のような形で表しています。参考にお使いください。□

3rd Zone: Climate Change and Energy Issues

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞のあとに説明を加えることができる。 ・気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、英語でまとめることができる。 ・「使い捨てプラスチック容器による食品の包装を禁止すべきである」を論題にしてディベートをすることができる。
-------------	--

		話す (やり取り)	話す (発表)	書く
		L7: TASK2, SHARE & WRITE Step2 L8: SHARE & WRITE Step2 L9: SHARE & WRITE Step2	L9: Debate	L7: TASK1, SHARE & WRITE Step3 L8: TASK, SHARE & WRITE Step3 L9: TASK2, SHARE & WRITE Step3
知識・技能	目標	<知識> 名詞のあとに説明を加えることについて理解している。 <技能> 名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、伝え合う技能を身につけている。	<知識> 名詞のあとに説明を加えることについて理解している。 <技能> 名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、話す技能を身につけている。	<知識> 名詞のあとに説明を加えることについて理解している。 <技能> 名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることについて、書く技能を身につけている。
	a	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、ほぼ正しい英語で話すことができる。	名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、論理的に詳しく話すことができる。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、論理的に詳しく書くことができる。
	a	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、論理的に詳しく話すことができる。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、論理的に詳しく書くことができる。
	b	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、話して伝え合うことができる。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、話すことができる。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、話すことができる。	助けがあれば、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	a	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを伝え合う姿勢が見られる。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、話そうとする姿勢が見られる。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression III Clear

※3領域について、3つの評価観点原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK1, 2)のような形で表しています。参考にお使いください。□

4th Zone: Sustainable Development

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞と動名詞を適切に使うことができる。 世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、英語でまとめることができる。 「世界をよりよくするためにどのような国際的な協力が必要か」をトピックにしてプレゼンテーションをすることができる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
		L10: TASK1, SHARE&WRITE Step2 L11: TASK1, SHARE&WRITE Step2 L12: SHARE&WRITE Step2	L10: TASK2 L12: Presentation2	L10: SHARE&WRITE Step3 L11: TASK2, SHARE&WRITE Step3 L12: TASK, SHARE&WRITE Step3
知識・技能	目標	<知識> 不定詞と動名詞について理解している。 <技能> 不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、伝え合う技能を身につけている。	目標	<知識> 不定詞と動名詞について理解している。 <技能> 不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、書く技能を身につけている。
	a	不定詞と動名詞を適切に用いて、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	不定詞と動名詞を適切に用いて、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかを考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	目標	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、論理的に詳しく書くことができる。
	a	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかを考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、論理的に詳しく書くことができる。
	b	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかを考え、話して伝え合うことができる。	b	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかを考え、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	目標	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	a	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、伝え合う姿勢が見られる。	b	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression III Clear

※ 3 領域について、3 つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK1, 2)のような形で表しています。参考にお使いください。□

Optional Lessons: Language Learning

単元目標	・複言語主義，第二外国語学習，英語公用語化というトピックについて考え，英語でまとめることができる。 ・「日本の企業は英語を公用語にすべきである」を論題にしてディベートをすることができる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
		O1: TASK O2: TASK1	O3: Debate	O2: TASK2
知識・技能	目標	<知識> 学習した文法について理解している。 <技能> 学習した文法を用いて，複言語主義，第二外国語学習について，伝え合う技能を身につけている。	目標	<知識> 学習した文法について理解している。 <技能> 学習した文法を用いて，第二外国語学習というトピックについて，書く技能を身につけている。
	a	学習した文法を適切に用いて，複言語主義，第二外国語学習について，ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	学習した文法を用いて，第二外国語学習というトピックについて，ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	学習した文法を用いて，複言語主義，第二外国語学習について，コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	学習した文法を適切に用いて，英語公用語化というトピックについて，コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。
	c	助けがあれば，学習した文法を用いて，複言語主義，第二外国語学習について，何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば，学習した文法を用いて，英語公用語化というトピックについて，何とか英語で話すことができる。
思考・判断・表現	目標	複言語主義，第二外国語学習について，自分の考えを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	目標	英語公用語化というトピックについて，自分の考えを論理的に詳しく話すことができる。
	a	複言語主義，第二外国語学習について，自分の考えを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	英語公用語化というトピックについて，自分の考えを論理的に詳しく話すことができる。
	b	複言語主義，第二外国語学習について，自分の考えを話して伝え合うことができる。	b	英語公用語化というトピックについて，自分の考えを話すことができる。
	c	助けがあれば，複言語主義，第二外国語学習について，自分の考えを何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば，英語公用語化というトピックについて，自分の考えを話すことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	複言語主義，第二外国語学習について，自分の考えを論理的に詳しく伝え合おうとしている。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	目標	英語公用語化というトピックについて，自分の考えを論理的に詳しく話そうとしている。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。
	a	複言語主義，第二外国語学習について，ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら，自ら進んで自分の考えを論理的に伝え合う姿勢が見られる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	a	英語公用語化というトピックについて，自ら進んで自分の考えを論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。
	b	複言語主義，第二外国語学習について，自分の考えを伝え合う姿勢が見られる。	b	英語公用語化というトピックについて，自分の考えを話そうとする姿勢が見られる。
	c	助けがあれば，複言語主義，第二外国語学習について，自分の考えを何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば，英語公用語化というトピックについて，自分の考えを何とか話そうとする姿勢が見られる。